

広報

# あいいち

A I N I C H I

2021  
第55号

運営理念 愛の心で 生命と人間  
そして地域を大切にします



愛日荘 *ai*

# 施設長あいさつ

施設長 阿部 久



日頃より、特別養護老人ホーム愛日荘の運営にご理解とご協力を賜り誠に有難うございます。

暖冬で積雪もなく穏やかな春を待ちかねていた昨今の今頃、新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大してWHOがパンデミックを表明、日本では唯一の予防策であるマスクの確保が社会的問題にもなりました。このような状況で始まった令和2年度はコロナ対策一色に染まり、不要不急の外出自粛や県外への外出制限、3密回避、マスク着用と消毒の徹底などを行いつつ、不本意ではありますが面会を制限し、ボランティア活動や大規模行事等を中止せざるを得ない状況となりました。一方、令和2年7月豪雨による河川の氾濫、8月の猛暑、年明けの大雪、東日本大震災の余震とされる本年2月福島県沖地震など、多くの自然災害が発生し改めて自然の恐怖を再認識させられた一年でもありました。

令和3年度の山形市高齢者保健福祉計画は「地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアシステムの確立」を基本理念とし、①「高齢者が自らの能力を活かしながらかみ慣れた地域で支え合いいきいきとした暮らしができる」、②「要介護者が住み慣れた地域で安心して自らの意志で望む暮らしができる」とのビジョンを掲げています。子供、大人、高齢者、障がい者などに関わらず、住民がそれぞれの住み慣れた地域で各々の社会的役割を遂行して共に支え合い、健やかに暮らせるコミュニティを実現するものです。その要となるのが地域の高齢者の身近な総合相談窓口として市内14か所に設置されている地域包括支援センターです。当施設が運営する済生会愛らんど地域包括支援センターは4月より地元の東沢地区が加わり第五、第八と併せて3地区を担当いたしますが、本体施設の特別養護老人ホームは勿論のこと同法人の小白川ケアセンターとも力を合わせ更なる業務の向上と充実を追求し、これまで以上に地域の皆様の暮らしを支援していきたいと考えております。

新型コロナウイルス感染症ワクチン接種も開始され状況好転が推測されるものの直ちに収束とはいかないようです。今後も収束まで気を抜くことなく感染防止の継続を徹底いたしますので引き続きご協力、ご支援の程よろしくお願い申し上げます。

## 短期入所生活介護（ショートステイ）

長く厳しい冬が終わり、もうすぐ春がやってきます。コロナ禍であっても、できる限りゆったり過ごし、尚且つ楽しんで頂けるように努めております。職員一同お待ちしております。

獅子舞



節分



団子さし



**個室** (8畳・洗面・トイレ付)  
ゆったりとした空間の中で個々の趣向に合わせた生活が出来るようにお手伝いいたします。

**大切な伝統行事 回想に繋がり、笑顔や真剣な表情が見られ身体活動を促します**  
「昔やったな～」とたくさんお話を伺いそれぞれの利用者様の歩んできた軌跡を知り勉強させられる機会となっております(\*^\_^\*)

### 送迎車 リフトバス



365日送迎いたします

**衣類の貸し出し**  
ご希望の方はどうぞご利用ください。



足は第三の脳・心臓

**個別の機能訓練**  
自宅でも自立して暮らせるようお手伝いいたします。



今回は梅と驚 大きな作品は見栄えも素敵

**貼り絵**  
大判用紙に季節の移ろいを取り入れて見当識や色彩感覚を刺激します。



敬老のお祝いカードどうぞ♡



クリスマス★

11月

## 特別養護老人ホーム～冬から春へ～



芸術の秋 創作活動



美味しいもの目の前にしてニコニコです😊

コロナ禍において「いつもの通り」が大変難しい中様々な季節の行事や様々な出来事がありました。オンラインや窓越し面会で、思い出をふり返り、出てくる言葉一つ一つにご家族との思い出があふれていらっしやい温かい気持ちになりました。

1月

### 東沢・山寺ドライブ



久しぶりの外出。日光の日差しがま・ぶ・し・い！



体操：大玉送り



獅子舞 厄を払って100まで長生き



団子さし

12月



メリークリスマス



忘年会で鍋パーティー(^^)



甘酒エナジードリンク 飲む点滴 元気みなぎる



今年の目標書くぞー！

2月



美味しそうなケーキだね



柚子湯であつたまります。



節分 暴れる鬼に豆の弾丸をお見舞。最後は仲良く記念撮影です📷



手作りバレンタインケーキ 美味しいものは皆で食べます🍓

3月



雛祭り 七段飾りを見て懐かしみ、その後お抹茶で一服頂きました。

### ホワイトデー



それぞれのユニットでケーキや和菓子等のスイーツを召し上がりました。中にはどんどん焼きもありました(\*^\_^\*)

### 生活を支えるための連携

入居者が元気に潤いのある生活を営んでいくためには、生活を支え・守るための職種間の連携は大切です。連携の一例として、当施設では平成23年度から介護職員を対象に経管栄養・吸引の実地研修を行っており、一定の研修が終了すると県に登録され経管栄養と痰の吸引ができるようになります。会議の開催・研修計画作成・実習・登録事務等職種間の連携が必要です。また平日の午後は多職種が集まりカンファレンスを行い情報交換やケアの検討を行っています。入居者のみなさんが豊かな生活を送れるよう日頃の連携を大切に生活を支え、守っていただけるように努めてまいります。



吸引の実習の様子



カンファレンス 3密を意識して

## 研鑽 荘内学会

当施設では、荘内学会と称して各部署で行っている取り組みや成果を発表する場を設け、広く荘内に発信することを目的に平成27年度から毎年荘内学会を開催しております。今年度は11題がノミネートされ1Fのフロアに展示し、職員の投票により魅力ある発表には賞状と景品が授与されました。今年は、新型コロナウイルス感染症にまつわることや、多職種連携、終末期のケアについて等が発表されました。日々実践していることをまとめることが専門性を高め、そして職種を超えて互いの頑張りを知ってもらう良い機会になっております。



最優秀賞  
リスクと共存

～危険予知訓練から見える気づき～  
(あじさい・りんどうユニット)



受賞者



1階フロアにスライド掲示  
職員が投票のため内容を  
吟味している様子

## 防災訓練 ～「災害は忘れた頃にやってくる」を念頭に～

例年家族会や地域防災関係者からの協力を得ながら、新採職員向けの消火訓練、消火設備操作説明、緊急通報訓練、風水害訓練、緊急通報招集訓練、夜間避難訓練、緊急通報抜き打ち訓練、地域の非常災害等協力員を交えた地域防災会議を実施しています。「災害は忘れた頃にやってくる。」今年はコロナ禍で外部の参加は得られませんでした。職員一人一人が危機意識を高め、突然の災害においても的確な判断が出来るように繰り返し確認しました。

### 夜間避難訓練



入居者の方々も参加



暗がりの中で避難所への誘導

### 総合防災訓練



初期消火



怪我人を搬送

## 表彰 厚生労働大臣表彰

長年にわたり医療・保健・福祉に尽力されたことによりこの度表彰されました。令和2年度の社会福祉功労者厚生労働大臣表彰は県内で11名受賞され、内2名が当施設の職員です。今後のご活躍をご祈念いたします。



主任介護職員 武田良子



主任看護師 青木ひろみ

## ブログ見てください

『済生会 愛日荘 ブログ』で検索お願いいたします。

## 苦情・ご意見

令和2年11月から令和3年2月までの間苦情はございませんでした。

## 第6回 フォトコンテスト

フォトコンテストが今年も1階ホールで行われております。入居者さんもお気に入りの写真を見つけ投票して頂きます。今年の『心を打つ良い写真』はどの写真なのか結果が楽しみです。



「あの羊の写真うまそうだね～」と笑顔 😊 🍷

## あとがき

この度はコロナ禍における取り組みの紹介となりました。東日本大震災から10年が経過しました。あの時の教訓を生かしこれからも入居者の安全・安心な生活を提供出来るよう努めて参ります。



正面駐車場 3・11雪灯籠

編集・発行 社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部山形県済生会

特別養護老人ホーム  
短期入所生活介護事業所  
居宅介護支援事業所

愛日荘

〒990-0011 山形市大字妙見寺4番地  
TEL (023) 632-2791 FAX (023) 632-2792  
e-mail ainichiso@yamagata-saiseikai.org

済生会 愛らんど地域包括支援センター

〒990-0021 山形市小白川町2-3-1  
TEL(023)679-3611 FAX(023)679-3610  
e-mail ailand@yamagata-saiseikai.org

●発行責任者/阿部 久 ●発行日/令和3年3月31日 ●印刷/コピー印刷